

## 第3回羽村市史編さん委員会次第

平成27年9月29日(火)

午前10時～

羽村市役所301・302会議室

### 1 委員長あいさつ

### 2 議題

(1) 第5回・第6回羽村市史編さん本部等の報告について

(2) 平成27年度上半期の事業の進捗状況について

(3) 平成27年度下半期の事業計画について

(4) 平成27年度羽村市史関連講座の実施について

(5) その他

次回会議予定

平成28年2月上旬

<配布資料>

第3回羽村市史編さん委員会 次第

席次表

【資料1】 平成27年度上半期事業実績及び下半期事業計画

【資料2】 市内民俗調査（第1回予備調査）参加人数

【資料3】 平成27年度羽村市史関連講座について

羽村市史編さんだより「伸びゆくはむら」創刊号・第2号

# 席次 (301・302会議室)

H27.9.29 第3回羽村市史編さん委員会

市史編さん委員会  
委員長  
第3部会長  
浜田弘明 氏

ドア

市史編さん委員  
文化財保護審議会会長  
白井裕泰 氏

市史編さん委員  
農業委員会会長  
宮川 修 氏

市史編さん委員  
商工会会長  
増田一仁 氏

市史編さん委員  
町内会連合会長  
森田幸男 氏

市史編さん委員  
第1部会長  
深澤靖幸 氏

市史編さん委員  
第2部会長  
白井哲哉 氏

市史編さん委員  
第4部会長  
白井正明 氏

市史編さん委員  
第5部会長  
菊池健策 氏

ドア

事務局

傍聴席

第1部会 第2四半期進ちよく状況

		26年度			27年度									28年度		
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
縄文班	縄文時代資料	再整理													写真撮影	
	進ちよく状況	⇒ 郷土博物館から調査データ借用済 ⇒ 目録化を進めている (郷土博物館になかった調査データは引き続き所在確認)														
中世班	鍛冶遺跡出土資料	再整理(博物館)													写真撮影	
	進ちよく状況	⇒ 資料選定・資料追跡調査進行中														
	阿蘇神社中世瓦	資料化(実測・採拓)											関連資料調査		写真撮影	
	進ちよく状況	⇒ 第3四半期以降着手予定														
	板碑・石塔	所在確認			所有者確認			調査・資料化								
進ちよく状況	⇒ 所在・所有者の確認済 ⇒ 順次調査・資料化実施(9月中に個人6件、郷土博物館調査予定)、寺社への協力依頼・他部会との調整															
中世史料調査	中世史料調査	目録作成			カード化・適宜原資料の確認					データ入力					史料選定	
	進ちよく状況	⇒ 8月原資料(青梅市寺院)の調査(確認) ⇒ 今後未確認資料順次確認予定														
その他	吉祥寺跡出土資料他	整理作業													写真撮影	
	進ちよく状況	⇒ 未着手(郷土博物館から資料借用のため要調整)														
	小作・長淵関連地調査	地籍図撮影	地籍図図化					現地調査								
進ちよく状況	⇒ 地籍図撮影・図化完了															
上記以外関連地調査	適宜															

## 第2部会 第2四半期進ちよく状況

		26年度			27年度								28年度			
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
史料調査関連	<b>市内調査</b>			巡見	資料情報の収集・現地調査準備						現地調査		史料整理			
	進ちよく状況	⇒ 現地調査方法検討済(調査時期については調整中)														
	<b>博物館収蔵資料調査</b>	収蔵資料再整理				資料選定・資料追跡調査										
	進ちよく状況	⇒ 資料選定・資料追跡調査進行中														
史料調査関連	<b>史料のデータ化 (目録化・写真撮影等)</b>	館蔵資料のデータ確認			未データ化史料の データ化候補の選定			データ化作業								
	進ちよく状況	⇒ 各史料データ化進行中(古文書…指田・下田・坂本・清水(新目録完了)、五ノ神(MFなし)、中根(再整理必要無)、新井(未実施)山崎(進行中))														
執筆作業関連	<b>資料集執筆準備</b>	資料の確認・選定														
	進ちよく状況	⇒ 各部会員のリクエストによりマイクロフィルムを博物館で借用・部会員へ提供、市外の資料は部会員が各自確認														
	<b>部会打合せ</b>	第1回	第2回	第3回			第4回	第5回								
	進ちよく状況	⇒ 第3回は8月23日(日)実施														

### 第3部会 第2四半期進ちよく状況

		26年度			27年度									28年度	
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
写真 図録 編 関 連	新聞記事データ化	データ・目録化(全国紙)						データ・目録化(西多摩・福生新聞)							
	進ちよく状況	⇒ 調査員が実施(全国紙(読売新聞・毎日新聞)昭和59年まで完了・西多摩新聞進行中)													
	刊行物資料データ化	写真撮影・目録化													
	進ちよく状況	⇒ 資料選定・資料追跡調査進行中													
広報課所蔵資料	進ちよく状況	整理作業						データ・目録化							
	進ちよく状況	⇒ 写真ネガ取込(データ化)作業中(700本/1,000本終了)													
市内資料調査	進ちよく状況	資料提供の呼びかけ		資料収集			郷土博物館写真データの確認閲覧・データ化								
	進ちよく状況	⇒ 川崎(雨倉家)石蔵は8月・9月調査実施、市内写真資料の追加提供呼びかけ(市民)は未着手(要郷土博物館との調整)													
文字 資料 編 関 連	公文書調査	資料の確認						資料の選定							
	進ちよく状況	⇒ 随時実施(マイクロフィルム閲覧)、その他編さん室内資料や市外資料調査を実施													
	郷土博物館収蔵資料調査	収蔵資料の再整理・照合						資料の閲覧・選定							
庁内資料調査	進ちよく状況	⇒ 古文書は第2部会でデータ化済													
	進ちよく状況	資料の調査依頼・確認作業						資料の調査依頼・確認作業							
		⇒ 未着手													

## 第4部会 第2四半期進ちよく状況

		26年度	27年度											28年度			
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4		
地形地質班	市内調査	フィールドワーク		武蔵野台地		多摩川・武蔵野丘陵											
		進ちよく状況	⇒ 5月・6月夜間調査(土砂採取)実施…武蔵野台地完了 ⇒ 7月・9月に多摩川・河原礫調査実施														
	市外調査	建築課所蔵資料調査				地質関係資料の確認											
		進ちよく状況	⇒ 6月確認済(ボーリングデータ)														
	生態班	市内調査	フィールドワーク		河成段丘(青梅・福生)						千葉・多摩地域の上総層群、武蔵野台地(立川断層付近)						
			進ちよく状況	⇒ 平成26年度に青梅市調査、4月福生市調査 ⇒ 河成段丘は、ほぼ完了													
市外調査		文献調査		主に梅雨～真夏													
		GIS作業		主に梅雨～真夏													
		進ちよく状況	⇒ 実施中(GISは調査員が実施中。市内の起伏を立体的に表現した図にランドマークを入力していく作業)														
生態班	市内調査	毎木調査(加美緑地)			毎木調査												
		植生調査(緑地・公園)		植生調査(緑地・公園)													
		植生調査(多摩川)			第1回					第2回							
			進ちよく状況	⇒ 植生調査(多摩川)は5月実施、毎木調査・植生調査(緑地・公園)は6月実施、その他市内公園等で伐採された木の年輪測定を実施													
	市外調査	鳥類調査(ラインセンサス法)		鳥類調査								鳥類調査					
		昆虫調査(ラインセンサス法)						昆虫調査(セミ)	昆虫調査(鳴く虫)								
		進ちよく状況	⇒ 鳥類調査は適宜実施中、昆虫調査(セミ)は8月に実施、昆虫調査(鳴く虫)は今後実施予定														
市外調査	予察的調査(根がらみ前)		予察的調査(根がらみ前)														
	進ちよく状況	⇒ 適宜実施中(エリアを決めて四季を通じた動植物の変化を観察)															
市外調査	データ整理		地図作成(土地利用変遷関係)							生態系復元(昭和)			植生変遷の分析(多摩川)				
	進ちよく状況	⇒ GISを使用して実施中(部会員・調査員が作成中)															
		資料・文献整理		適宜													

		26年度	27年度											28年度		
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
気候班	市内調査	気温観測(移動・定点(※)回収)			移動	定点		移動	定点		移動	定点	移動	定点		
		進ちよく状況	⇒ 5月・8月気温の移動観測実施、6月・9月定点データ回収実施													
	市外調査	気温データの整理・図化														適宜
		移動観測に関する整理作業														適宜
		東京都周辺の気候特性の解析														適宜
	市内及び周辺の気候特性の解析														適宜	

(※)…気温観測の定点は、羽村西小学校、松林小学校、小作台小学校の3か所です。

## 第5部会 第2四半期進ちょく状況

		26年度			27年度								28年度		
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
聞き取り調査	予備調査(共同調査)	市内巡見・データ収集					聞き取り調査						聞き取り調査		
	進ちょく状況	⇒ 8月19日(水)～21日(金)第1回(旧加美・旧奈賀地区)調査実施、聞き取り欠席者については個別対応													
聞き取り調査	本調査(個別調査)	データ収集			聞き取り調査(随時)										
	進ちょく状況	⇒ 資料選定・資料追跡調査進行中													
資料等調査	博物館所蔵の民具			民具確認		民具確認									資料の選定等(時期未定)
	進ちょく状況	⇒ 5月・7月に博物館所蔵民具の確認実施、国・都指定民具目録データの確認中													
資料等調査	その他の調査				適宜										
	進ちょく状況	⇒ 予備調査等で明らかになった史料の調査・分析、各町内会所有の記念誌等の提供依頼中													
打合せ	部会打合せ	第1回					第2回		第3回					第4回	
	進ちょく状況	⇒ 第3回は10月予定													

## ■市内民俗調査(第1回予備調査)参加人数 のべ68人(実数67人)

期 日	町内会・参加人数・会場		
	午前9時30分～11時30分	午後1時～3時	午後3時30分～5時30分
8月19日(水)	奈賀一町内会(12人) 奈賀二町内会( 0人) 【奈賀会館】	間坂第一町内会(6人) 間坂第二町内会(5人) 羽村郷土研究会会長1人 【加美会館】	宮地町内会(10人) 【加美会館】
8月20日(木)	田ノ上第二町内会(4人) 田ノ上第三町内会(4人) 【中央館】	田ノ上第一町内会①(8人) 【田ノ上会館】	田ノ上第一町内会②(7人) 【田ノ上会館】
8月21日(金)	美原町内会①(5人) 【美原会館】	美原町内会②(6人) 【美原会館】	第5部会打合せ(午後5時まで) 【美原会館】

【資料 3】

平成 27 年度羽村市史関連講座について

- 1 目 的 ① 郷土羽村をよりよく知るための機会とする  
② 羽村市民に広く市史編さん事業を周知する  
③ 調査過程で得られた知見を、羽村市民に還元する
- 2 日 時 平成 27 年 12 月 5 日（土） 10:00～12:00
- 3 場 所 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 講座室 1
- 4 内 容 「(仮) 民俗調査から見えてくる羽村の生活の様子」  
8 月に実施した加美地区・奈賀地区の聞き取り調査をベースに、羽村の生活の様子を、これまで講師が調査してきた他地域の民俗例と比較しながら、その特徴について解説する。
- 5 講 師 菊池健策氏（羽村市史編さん部会第 5 部会長/元文化庁主任文化財調査官）
- 6 対 象 一般（羽村市民等を問わない）
- 7 定 員 80 人（事前申し込みなし）（保育なし）
- 8 参加費 無料
- 9 広 報 「広報はむら」 11/1 号・公式ウェブサイト・「伸びゆくはむら」・チラシ

羽村市史編さんだより

創刊号  
平成27年  
4月

# 伸びゆく はむら



N e w s

## 第2回羽村市史編さん委員会を開催

2月2日(月)、市役所で、第2回羽村市史編さん委員会を行いました。会議では、平成26年度の事業の進捗よく状況や平成27年度の活動予定について話し合いました。

また、市史の構成や内容について審議を行い、活発な意見交換が行われました。

会議録は、市史編さん室および市公式サイトで公開しています。ぜひ、ご覧ください。



▲第2回羽村市史編さん委員会の様子

## 『羽村市史』の事業についてお知らせします

『羽村市史』は、市制施行30周年である平成33年度に本編2冊を刊行します。平成32年度までに、資料編8冊を刊行していきます。

### 目的

- ①市制施行30周年に向け、市民意識の高揚を図ります。
- ②市民の郷土羽村に対する理解と愛着を深めます。
- ③先人が築き発展させてきた思いと歴史を次代に継承していきます。
- ④貴重な遺産を新たな「はむら」の創造に繋げていきます。

### 基本方針

- ①戦後の羽村の歩みを、さまざまな角度からアプローチして記録します。
- ②『羽村町史』編さん事業の過程で蓄積された資料、その後に蓄積されてきた資料や調査・研究の成果を十分に活用します。
- ③地域に埋もれている未発見の資料を掘り起こし、活用します。
- ④羽村の歩みに関する事柄について、市域に限定せずに幅広く調査し、活用します。

### 編集方針

- ①歴史学の分野にとどまらず、自然に関すること、生活の移り変わりなどの視点、市民生活の視点を取り入れていきます。
- ②市民の生涯学習活動に広く活用できるよう、誰にでも読みやすく、見やすく、理解しやすい記述の方法を取り入れていきます。
- ③羽村の歩みを、原始古代の時代から書き起こし、原則として第四次羽村市長期総合計画が終了した時期までを記述します。

# 市史の構成と内容

## 本編 (2冊)

羽村市の自然、歴史、文化、人々の生活の様子などを総合的にまとめ、歴史の分野では、時系列に整理し記述したもの

本編①：自然・原始～近世編 (第1・2・4部会)

本編②：近代・現代・民俗編 (第3・5部会)

## 資料編 (8冊)

市史編さんの過程で収集・整理し、分析された資料群のなかで、『本編』の記述の際に根拠とした資料を集成したもの  
また、『本編』の理解を助けるための資料や研究成果をまとめたもの

資料編①：原始・古代編 (第1部会)

資料編②：中世編 (第1部会)

資料編③：近世編 (第2部会)

資料編④：近現代写真図録編 (第3部会)

資料編⑤：近現代資料編 (第3部会)

資料編⑥：自然編 (第4部会)

資料編⑦：民俗編 (第5部会)

資料編⑧：社寺・文化財・人物編

## ダイジェスト版

『羽村市史』を学校教材などに活用するため、『本編』を分かりやすく要約し、学習指導要領に沿って再編集したもの

## 明星大学の学生が市史編さん室でインターンシップ

明星大学の学生が、2月23日(月)～27日(金)に2人、3月16日(月)～20日(金)に2人、市史編さん室でインターンシップ(\*1)を行いました。

広報紙から市史編さん事業に関する記事の検索、写真の整理作業など、地道な作業でしたが、どの学生も5日間一生懸命に働いていました。

学生たちにとって、今回の経験が直接役立つことはなくても、社会に出て「働く」というイメージを少しつかめたのではないのでしょうか。

(\*1) インターンシップ…学生が一定期間企業などの中で研修生として働き、自分の専攻や将来に関連のある就業体験をする制度



▲インターンシップの様子

### 体験した学生の声



近藤さん

元々昭和の暮らしが好きで参加しました。

写真を見て記憶する作業はつらかったですが、徐々に慣れ、記憶したことが写真整理をする時に役に立ちました。貴重な体験でした。



浅見さん

大学で冊子を作る授業があり、写真の使い方の参考にするために参加しました。笑顔の写真が多く、印象的でした。

古い写真に触れ楽しかったです。今後は古い物に触れようと思います。

# 部会の手帖



## ◆部会の構成

部会名	担当分野
第1部会	原始・古代・中世
第2部会	近世
第3部会	近代・現代
第4部会	自然
第5部会	民俗

※第2・5部会は、4月から活動が本格的にスタートします。

### 第1部会

市内の埋蔵文化財包蔵地などの巡見、青梅市内の三田氏（\*1）関連遺跡の巡見を行いました。

また、青梅市郷土博物館所蔵の明治8年頃の下長淵村地租改正絵図（縦4.5m×横3.3mの大きさ！）の調査を行いました。

現在は、市内の中世資料の所在確認と目録化を進めています。

（\*1）三田氏…中世の頃、青梅・奥多摩町の一部と共に、羽村一帯を支配していた豪族

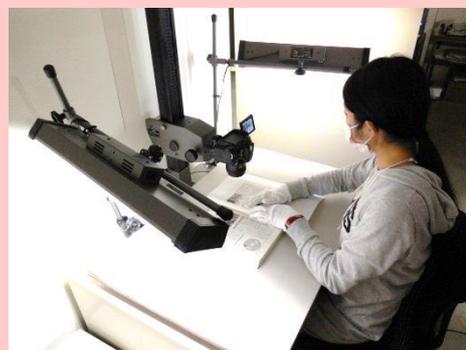


▲青梅市巡見の様子

### 第3部会

市内近現代遺跡の巡見を行いました。そのほか、資料編「近現代写真図録編」の刊行に向けて、広報広聴課の所蔵する写真の整理、市勢要覧などに掲載されている写真の複写、羽村市関連の新聞記事の目録作成、過去の公文書の確認などを行いました。

引き続きこれらの作業を進めていくとともに、聞き取り調査に向けた準備も行っていきます。



▲写真の複写作業の様子

### 第4部会

地形分野では、市内を自転車でまわり、大昔の多摩川の河原（段丘面）の分布を詳しく調べました。採取した土砂の年代を、今後測定していきます。

気候分野では、気温の観測地点の選定を行いました。今年度から移動観測・定点観測（小学校3校）を開始します。

生態分野では、今後、緑地や多摩川の植生調査などを行います。



▲市内調査の様子

# 市史編さんの足あと

年	月	日	できごと	年	月	日	できごと
平成 26 年	4月	1日(火)	「市史編さん室」発足	平成 27 年	1月	20日(火)	市史編さんだより「伸びゆくはむら」創刊準備号発行
		23日(水)	狛江市市史編さん事業視察			27日(火)	第1部会青梅市巡見
		24日(木)	小平市市史編さん事業視察		2月		2日(月)
	5月	1日(木)	相模原市市史編さん事業視察			25日(水)	第5回市史編さん本部
		26日(月)	第3回市史編さん本部			23日(月)～ 27日(金)	明星大学学生インターン シップ
	7月	31日(木)	第4回市史編さん本部		3月		16日(月)～ 20日(金)
	8月	14日(木)	都立多摩図書館新聞データ ベース操作説明会参加			17日(火)	第5部会郷土博物館視察 および市内巡見
	11月	12日(水)	相模原市立図書館参考資料 閲覧・複写作業			22日(日)	第2部会市内巡見
					13日(木)		
12月		1日(月)	第4部会市内巡見				

## コラム

## ちっとなべえ

### 第1回 こんにちは 市史編さん室です！

「羽村市史編さんだより 伸びゆくはむら」が創刊されました。これから、市史編さんに関わる情報を、この紙面いっぱい詰めてお届けします。

市史編さん室の事務室は、市役所の3階にあります。向かいの窓からは、草花丘陵の向こうに富士山の山頂だけくっきりと見えます。今はまだ雪化粧の富士山ですが、夏には青い山肌に変化します。

この部屋が、いわば市史編さんのためのベースキャンプです。これから羽村に関する情報が蓄積されていきます。これらの情報を資料として整理し、一つ一つの事実を積み上げ、『羽村市史』へと繋げていきます。

「歴史」は過去を振り返るものと思いがちです。でも、振り返る動作を思い浮かべてください。体の向きは前を向いていませんか。そうです。振り返った後は、未来を向くのです。歴史は過去に遡ることだけではありません。未来に向けて大きな指針を与えてくれるのです。『羽村

市史』にもそんな思いを込めて、未来の羽村のために、今できることを記録できたらと願っています。

さて、このコラムでは、市史編さんのこぼれ話的な話題を、つれづれなるままに書き連ねようと考えています。気軽に読んでいただければ幸いです。(M.M記)



▲市役所から見た富士山

※「ちっとなべえ」とは、羽村のむかしことばで「ちょっと、少しばかり」という意味です。

羽村市史編さんだより

第2号  
平成27年  
7月

# 伸びゆくはむら



## News

### 羽村郷土研究会と懇談しました

4月24日（金）、市役所で、羽村郷土研究会の役員と羽村市史編さん部会部会長の懇談会を行いました。

懇談会では、事務局から市史編さん事業の概要を説明し、その後、意見交換を行いました。

郷土研究会からは、市史編さん事業にあたっての提案や意見をいただき、市史編さん部会からは、郷土研究会へ編さん事業への協力をお願いしました。



▲懇談会の様子（郷土研究会役員の皆さん）

### 始まっています！市史編さんのための調査

平成27年度に入り、各部会の調査活動が始まっています。自然や文化財、人々の生活、現代への移り変わり、関係する自治体の史料などを詳しく調べることで、羽村の歴史が見えてきます。

これまでに、市内の気温観測や緑地の植生調査、地形の成り立ちを調べるための調査などを行いました。

調査は、夜間や土・日曜日、祝日に行うこともあります。ご理解とご協力をお願いします。

※調査は、各権利者の許可を得て行っています。

※調査員は、調査証を携帯しています。



▲羽村西小学校への温度計設置の様子

### —あなたの思い出が羽村の歴史になる— 聞かせてください！「羽村の昔」

地域に伝わる習俗（衣食住・冠婚葬祭・年中行事など）や伝承（子供の遊びなど）について、市内各地区をまわり、聞き取り調査を行います。ぜひ、皆さんのお話を聞かせてください。ご協力をお願いします。

※詳しくは、広報はむら8月1日号または市公式サイトをご覧ください。



# 部会の手帖



それぞれの活動をスタートさせた部会の様子を紹介します。

## 🔍 用語の解説

巡見…あちらこちらを回りながら、様子を  
確認していくこと

資料…研究・調査・分析の基礎となる材料  
史料…文献・遺物など歴史を考察するための  
素材

## 🎨 第1部会 ～原始・古代・中世～

現在、縄文班と中世班の2班に分かれて活動しています。

縄文班は、羽村市郷土博物館に収蔵される縄文時代の土器や石器の確認を行いました。今後、これらの資料を最新の研究成果を基に再整理していきます。

中世班は、過去に行われた石造物調査のデータを基に、市内の寺院や墓地などで中世石造物の所在を確認しました。今後、石造物に刻まれた文字などを写し取る拓本作業を行います。



▲石造物の所在確認調査の様子

## 🎨 第2部会 ～近世～

4月から本格的な活動がスタートした第2部会は、各部会員が本編・資料編の執筆に向けて、市内にどのような資料が残されているかを確認する作業を進めています。

また、市内の寺社や青梅線より西側地域の巡見を行い、市内の地理的環境について理解を深めました。

これらの作業と並行し、今後実施する予定の市内調査の準備や、市外の関係各所に残されている羽村に関する情報の収集を行っています。



▲市内巡見の様子（阿蘇神社）

## 第3部会 ～近代・現代～

昨年度から引き続き、資料編「近現代写真図録編（仮）」の刊行に向けた資料の選定のため、市役所内で保管している写真の整理を行っています。

また、写真整理作業と並行して、羽村市について書かれた新聞記事を拾い出し、データベース化の作業を行ったり、古い行政文書や近隣市史などの資料から、執筆作業に向けた情報収集を行ったりしています。



▲資料閲覧の様子

## 第4部会 ～自然～

第4部会は地形・地質班、気候班、生態班の3班に分かれて活動しています。

地形・地質班は、地形の成立ちを調べるために、市内11か所で土砂の試料採取を行いました。古い地層の土砂を分析することで、その地層の年代を調べることができます。

気候班は、市内全域で気温の移動観測と風向・風速の定点観測などを行いました。

生態班は、新緑の美しい時期に多摩川や緑地の植生調査を行いました。



▲気温の移動観測の様子

## 第5部会 ～民俗～

4月から本格的な活動がスタートし、市内の街並みや寺社などの巡見、羽村市郷土博物館に収蔵される民具の確認を行いました。

また、羽村郷土研究会の会員との懇談を行い、過去に行われた民俗調査などについて、話を伺いました。

民具などの「物」資料とともに、伝承や記憶も重要な資料となります。今後、羽村の習俗や昔の暮らしなどについて、幅広く聞き取り調査を行っていきます。



▲市内巡見の様子（まいまいず井戸）

# 市史編さんの足あと

月	日	できごと	月	日	できごと
4月	1日(水)	第4部会 市内調査	5月	21日(木)	第5部会 郷土博物館収蔵資料確認、羽村郷土研究会会員との懇談
	7日(火)	第4部会 近隣市調査		22日(金)	教育委員会定例会説明
	15日(水)	羽村市史編さんだより 伸びゆくはむら創刊号発行		29日(金)	第1部会 郷土博物館収蔵資料確認
	24日(金)	羽村郷土研究会役員と市史編さん部会部会長懇談会		30日(土)	第4部会 夜間調査(土砂採取)
5月	1日(金)	第6回羽村市史編さん本部会議	6月	1日(月)	第1部会 石造物の所在確認調査 第4部会 夜間調査(土砂採取)
	6日(水)	第2部会 市内巡見		6日(土)	第5部会 市内巡見
	11日(月)	第4部会 羽村郷土研究会会員との懇談		7日(日)	第4部会 緑地の植生調査
	12日(火)	川崎地区石蔵内資料調査事前訪問		17日(水)	行政連絡委員会説明
	13日(水)	第4部会 夜間調査(土砂採取)		18日(木)	官公署等連絡協議会説明
	17日(日)	第4部会 気温の移動観測・風向風速の観測、多摩川の植生調査		25日(木)	第4部会 市内調査
	19日(火)	第1部会 石造物の所在確認調査		26日(金)	第4部会 市内小学校(3校)の気温観測データの回収

## コラム

### ちっとんべえ

夏に向かう暑さとともに、市史編さん事業も慌しくなってきました。完成に向けて一步一步進んでいますが、まだまだ先は長いです。

さて、皆さんは、ご自分の住む地区の名称(地名)が、いつから使われているものかご存じですか？

地名は、住所の中だけではなく、町内会名や道の名前としても使われ、時にそれらは古くから使われているものであったり、そこに暮らす人々の中での通称であったりします。そして、残る地名もあれば、使われなくなり忘れられていく地名も多くあります。

市内の「緑ヶ丘」という地名も、少し前までは「武蔵野」、もっと前では「分野(ぶんの)」と呼ばれていたようです。もしかすると、他にも呼び名があったのかもしれませんがね。

歴史を身近に感じるために、「どこで」という情報は欠かせません。「〇〇と言う場所で△△があった」と書かれていても、「〇〇」が現在のど

## 第2回 残る地名 変わりゆく地名

こに当たるのかがわからなければ、ピンときませんよね。

「ここにこんな物があった」、「あそこであんな事があった」と知っていただき、皆さんに羽村の歴史への親近感を持っていただければと思っています。そのために、今後も地名の調査を続けていきますのでご期待ください。(K.K記)



▲地名の残る間坂街道

※「ちっとんべえ」とは、羽村の昔ことばで「ちょっと、少しばかり」という意味です。